



2022年12月12日

各 位

太陽生命保険株式会社  
代表取締役社長 副島 直樹



## 太陽生命、「新関西国際空港株式会社」が発行する 「ソーシャルボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、新関西国際空港株式会社（以下、「同社」）が発行するソーシャルボンド（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券の調達資金は、同社が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

なお、本債券のフレームワークは、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2021等に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

### <概要>

発行体：新関西国際空港株式会社

名称：ソーシャルボンド

（Moody's格付：A1、R&I格付：AA、JCR格付：AA+）

発行総額：60億円・70億円

償還期間：20年・30年

SDGs：本債券によって調達された資金は、同社の事業を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」<sup>(\*)</sup>に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以上

<sup>(\*)</sup>責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。